

# 食器から食器へ 不要陶磁器製食器のリサイクル

小平市ごみ減量推進実行委員会では、平成23年度6月から陶磁器製の食器リサイクルに取り組んでいます。平成23年度には、6月のごみゼロフリーマーケットで800kg、9月のこだいらエコフェスティバルで1,870kgもの陶磁器が集まりました。平成24年6月のごみゼロフリーマーケットでは790kgの陶磁器が集まりました。

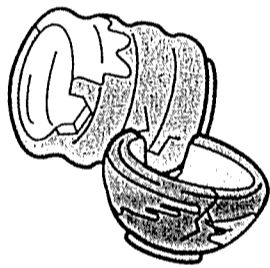
回収された陶磁器は、実行委員会で検品し、リサイクル対象外のもの(土鍋など直火で使用するもの・汚れているもの・ガラス製品等)、状態がきれいでそのまま使用できるもの、できないものに分けられます。

使用できるものは安価で販売したほか、平成23年7月には、東日本大震災の被災地の岩手県石巻市に8箱分、福島県会津若松市に10箱分を寄贈しました。

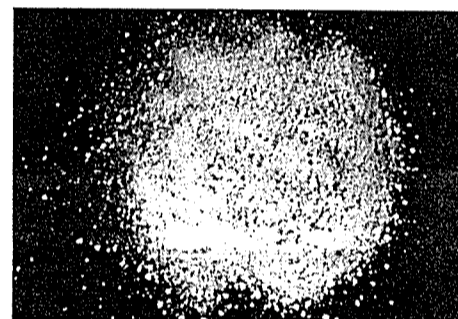
## ●陶磁器のリサイクル工場を見てきました。

24年3月に小平市清掃事業協同組合と実行委員会の代表が岐阜県土岐市にあるリサイクル業者「神明リフックス」に回収した陶磁器1,250kgを持って行き、陶磁器リサイクルの処理工場を見学してきました。神明リフックスでは、社長の宮地さんが不要陶磁器リサイクルの流れについて詳しく説明してくださいました。

持ち込まれた陶磁器は粉砕機で細かく3回に分けて砕かれ、ミル(すりつぶす機械)で水などを加えながらさらに細かくし混ぜられます。リサイクルした粉20%に土80%を加えて土練機でよく練りリサイクル粘土が出来上がります。出来上がった粘土は形成・素焼き・本焼きし、新しい器に生まれ変わり、お店に並べられ販売されます。



●安価で販売●



●粉砕した粉●



●再生食器●

神明リフックスの再生処理場では、年間1,200tの再生処理が可能ですが、平成23年度に全国から持ち込まれた陶磁器は120tでした。神明リフックスでは、陶磁器リサイクルのシステムを、市民・産・官・学とのパートナーシップにより推進して高めていきたいと考えているとのことでした。

## ●第一回拠点回収の報告

6月28日午後1時より中島町にあります小平市清掃事務所で不要食器の回収を行いました。市民の方が拠点である清掃事務所に持参する形です。

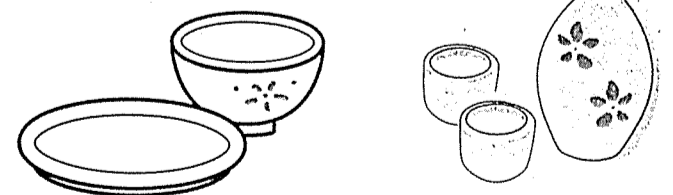
市報を見て持参したという方たちが次々と訪れ、3時間で850kgもの食器が集まりました。少し前ならよく見られた、お客さまを家でもてなす機会が減少したためか、どの家庭にも昔からあった食器が不要になり、不燃ごみに出すのはもったいないし、この機会にリサイクルに出そうと持参された方が多いように思いました。「こんな回収がいつでもあると助かります。次はいつですか」との声をたくさんいただきました。

～次回の回収は～

**9月20日(木) 午後2時から4時まで**

前回と同じ中島町の清掃事務所で実施します。回収した食器は、再び食器の原料となります。そのため、回収は陶器や磁器の食器に限ります。食器でないもの(花器等)、原料の違うガラス製品や直火で使う土鍋等は引き取りできませんのでご了承ください。

割れていてもかまいませんが、汚れているものは洗ってお持ちください。



●回収した陶磁器●



●これはリサイクルできません●